

RsWedge

for WINDOWS

ソフトウェアキーボードウェッジ

[illegible]

1. 本書の著作権はウェルコムデザイン株式会社に属します。
2. 本書の内容は、改良のため、将来予告無く変更する場合があります。
3. 本書の全部または一部を無断で複製することはできません。
4. 本書内に記載している製品名等の固有名詞は、弊社または各社の商標または登録商標です。
5. 本書内において、誤り・記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。
6. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

－ 目 次 －

1. はじめに	3
1) 製品の特徴	3
2) 対応 OS	3
2. インストールとアンインストール	4
1) インストール	4
2) アンインストール	4
3. 操作方法	5
1) 起動	5
2) 終了	5
3) アイコン化	5
4) メイン画面の再表示	5
5) 通信開始	5
6) 通信終了	5
4. 設定	6
1) 通信設定	6
2) 受信設定	7
3) 送信設定	7
4) UTF8→SJIS 変換設定	7
5) 全角コード・半角カナコード設定	7
6) 付加コード設定	8
7) ログ設定 ボタン	9
8) 開始 ボタン	10
9) 中止 ボタン	10
10) [起動時、自動実行] チェック	10
11) 設定読込／書込 ボタン	11
12) 入力データ表示	11
5. コード一覧	12
1) 文字コード一覧	12
2) 仮想キーコード一覧	13

1. はじめに

RsWedge は、シリアルポートから受け取ったデータを、アクティブなウィンドウにキー入力データとして送るソフトウェアです。

※「アクティブなウィンドウ」とは？

入力や操作の対象となっているウィンドウで、通常は一番手前に表示されています。

1) 製品の特徴

- ・読み取ったデータは、16 進数および文字列で表示されます。通信設定や読み込みデータの確認にご利用いただけます。
- ・受信開始・終了コードを指定すると、前後の不要なデータを除去できます。
- ・JIS コードの場合、全角や半角カナの開始・終了コードを指定することで、シフト JIS に変換して出力可能です。
- ・UTF-8 コードの場合、UTF8→SJIS 変換ありと設定することで、シフト JIS に変換して出力可能です。
(注意:UTF-8 にあって、シフト JIS にない文字など一部の文字については正常に処理されません。)
- ・読み込んだデータの前後に、文字列や仮想キーコードを付加することができます。
- ・開始・終了などの各コードは、キー入力またはキーコードの一覧から選択することで、簡単に設定できます。

2) 対応 OS

Windows VISTA/7/8/8.1

ご注意ください！

- ご使用のアプリケーション(ウィンドウ)によっては、データを送れない場合があります。
- RsWedge をご使用になる際は、IME などの入力モードを下記のように設定してください。
 - ・日本語入力・CapsLock・カナ入力はすべて OFF設定が異なっていると、意図しない変換が行われる場合があります。

2. インストールとアンインストール

1) インストール

「Setup.exe」(または Setup_xx.exe)を起動してください。

インストールが開始されますので、メッセージに従ってインストールしてください。

前のバージョンの RsWedge がすでにインストールされている場合、その RsWedge を先にアンインストールしてください。

インストール中、またはインストール後、最初の起動時にライセンスキーが要求された場合は、CD または付属文書に記載しているキーを入力してください。

2) アンインストール

コントロールパネルより、[プログラムと機能] → [RsWedge] を選択してください。

3. 操作方法

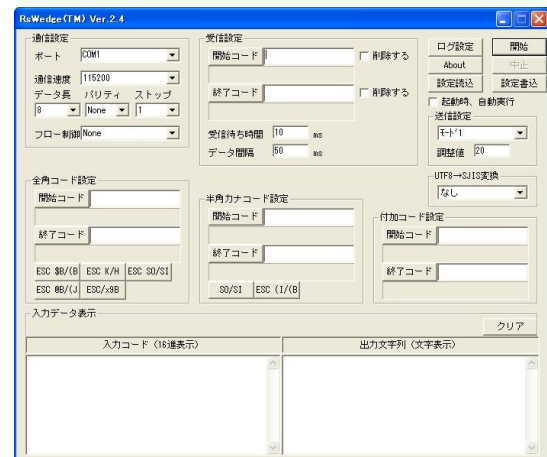
1) 起動

方法1) デスクトップ上のアイコン(右図)をダブルクリックします。

方法2) スタートメニューからプログラムメニューを表示し、
[RsWedge] → [RsWedge]をクリックします。



起動すると、右のようなメイン画面が表示されます。



2) 終了

・メイン画面から操作する場合

メイン画面右上の  ボタンをクリックします。

・アイコンを使用して操作する場合

タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックし、
表示されるメニューから、[終了]を選択します。

3) アイコン化

メイン画面右上の  ボタンをクリックします。



4) メイン画面の再表示

方法1) タスクトレイに表示されているアイコンをダブルクリックします。

方法2) タスクトレイに表示されているアイコンを右クリックし、表示されるメニューから
[表示]を選択します。

5) 通信開始

読み取りを行う機器を PC に接続し、必要な設定を行って、
メイン画面の開始ボタンをクリックします。

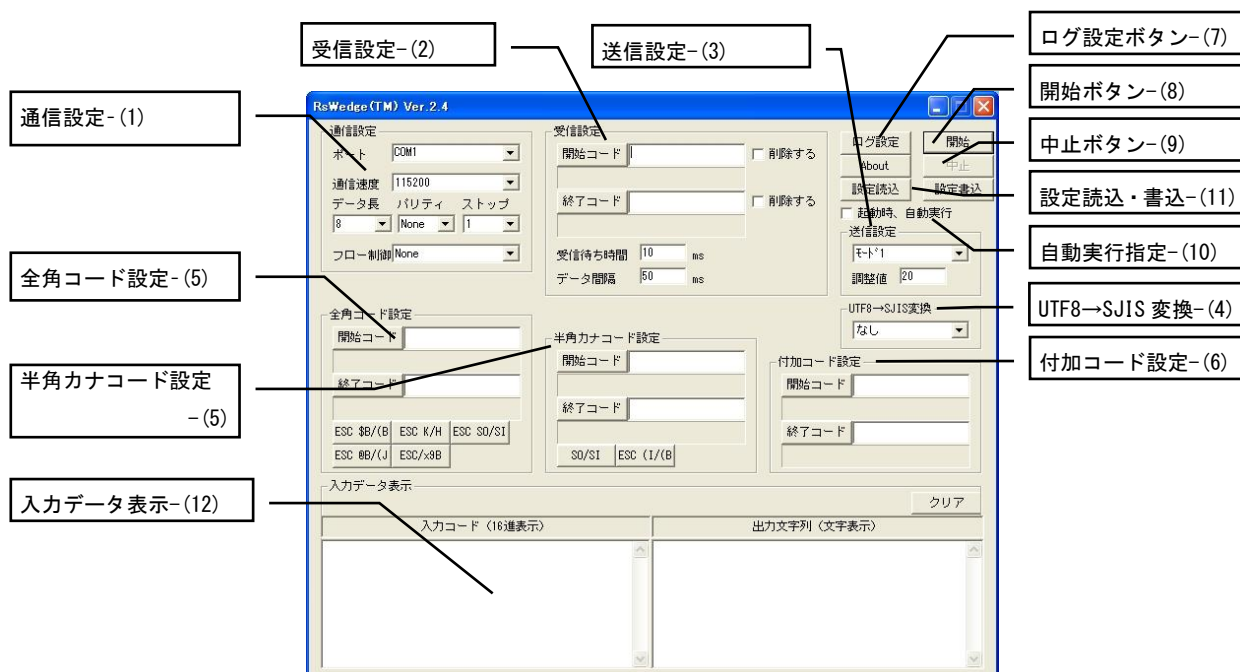
※設定の詳細は、次ページ以降をご参照ください。

6) 通信終了

メイン画面の中止ボタンをクリックします。

4. 設定

設定はメイン画面で行います。



1) 通信設定

シリアルポートに関する設定を行います。

「ポート」には、使用可能なポート番号が表示されます。機器を接続したポート番号を選択してください。

※PC 本体に RS232C のポートがある場合、通常は「COM1」です。

仮想 COM ポートの場合は、ご使用になる機器に対応するドライバのインストールが必要な場合があります。機器に付属の説明書などをご参照のうえ、ドライバのインストールなどを行ってください。使用できる状態になっていれば、「ポート」にポート番号が表示されます。表示されない場合は、再度機器をしっかりと差し込んで、「ポート」欄の下矢印をクリックしてください。

それでも表示されない場合は、ドライバのインストールなどが正しくできていない場合がありますので、デバイスマネージャー等ご確認ください。

「ポート」以外の通信設定は、ご使用になる機器の設定にあわせてご指定ください。

接続する機器と RsWedge の通信設定が異なっていると、データの読み込みができなかったり、文字化けが発生したりすることがあります。設定を変更された場合は、正常に読み取りが行えるかを、RsWedge の入力データ表示欄で、確認してください。

2) 受信設定

読み込みデータの開始コードや終了コード、データ間隔を指定します。

- ・受信開始コード : データの開始コードを指定します。開始コードまでのデータは無視します。
- ・受信終了コード : データの終了コードを指定します。

指定可能コード : 文字コード 設定可能コード数 : 5
 ※文字コードについては、「文字コード一覧」をご参照ください。
 ※「削除する」をチェックすると、開始／終了コードは出力されません。

- ・受信待ち時間:

シリアルバッファからデータを取り出すまでの待ち時間を設定します。読取ったデータが全て取得できない場合、この時間の値を増やしてください。

- ・データ間隔:

データの1件ごとの間隔をms(1/1000 秒)で指定します。ここで指定した時間、データの受信が途切れた場合をデータの区切りとします。

3) 送信設定

読み込んだデータを他のウィンドウに送る方法を選択してください。

通常はモード 1 でご使用いただけますが、問題が発生する場合は、その他のモードをお試しください。

調整値は、PC の性能に応じて、処理速度を指定するための値です。初期値は 20 です。

値を小さくすれば処理が早くなりますが、以下のような場合は値を大きくしてお試しください。

- ・モード 1 で、読み取った文字と制御コードの順番が狂う。
- ・上記以外のモードで、桁落ちや文字化けが発生する。

4) UTF8→SJIS 変換設定

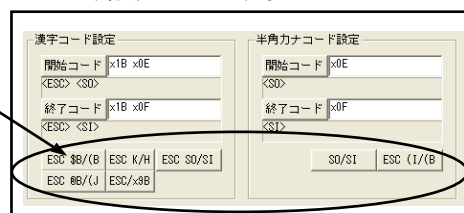
UTF-8 コードを読み取る場合には、「あり」を選択してください。ただし、UTF-8 にあって、シフト JIS にない文字など一部の文字については正常に処理されません。

5) 全角コード・半角カナコード設定

JIS コードを読み取る場合には、全角コード・半角カナコード各々について、開始・終了コードの設定が必要です。ご使用の機種仕様にあわせて設定してください。

一般的なコードの組合せは、下記枠内のボタンをクリックすることで、設定できます。

ボタンをクリックすると、開始・終了コードが自動的に指定されます。



指定可能コード : 文字コード

設定可能コード数 : 5

6) 付加コード設定

読み込まれた 1 件のデータに、設定されたコードを付加します。

先頭に付加するコード、末尾に付加するコードを指定することができます。

受信コード設定で、開始・終了とも設定しない場合、付加コードは無視されます。

指定可能コード: 文字コード、仮想キーコード 設定可能コード数 : 10
 ※仮想キーコードの詳細は、「仮想キーコード一覧」をご参照ください。

コードの設定方法について

方法 1) キーボードから入力

文字／10 進数／16 進数、のいずれかで入力します。

	文字コード			仮想キーコード
書式	文字	d+10 進数	x+16 進数	v+16 進数
桁数／文字数	1	1～3	1～2	1～2
「 a 」を指定	a	d97	x61	v41

※ 先頭文字は小文字／大文字を問いません。

方法 2) キーコード一覧から選択

各設定の **開始コード**、**終了コード** ボタンをクリックすると、キーコード一覧画面が表示されます。

一覧の中より指定したい文字をダブルクリックします。

OK ボタンをクリックすると、指定を完了します。

※ 淡色表示・空白は選択することはできません。

コードは複数指定することができます。コード間を半角スペース 1 文字で区切ります。
「[Ctrl] キーを押したまま、[a] を押す」等、複数キーの同時押下を設定する場合は、
「+」(プラス)でつなぎます。

※「+」でつなぐことができるのは、仮想キーコード同士のみです。

< 入力例 >

設定値	仮想キーコード
abc	x61□x62□x63
[Ctrl] を押したまま [A]	v11+v41

※ □は半角スペースを表します。

7) ログ設定 ボタン

ログ設定画面を表示します。

・データの記録

データをファイルに記録するかどうかを指定します。

「キー送信しない」をチェックすると、アクティブなウィンドウにデータを送りません。

・ファイル作成方法

「新規作成」の場合、既存ファイルのデータは破棄し、新たに書き込みます。

※RsWedge を起動して、最初にデータを読み込んだ時に破棄されます。

「追加書込」の場合、データを追記します。既存のデータは破棄されません。

・サイズ制限

ログファイルの最大サイズと、制限超過時の処理方法を指定します。

・ファイル設定

ログを記録するフォルダとファイルを指定します。ファイル名に実行日付や時刻を使用する場合は、以下の特殊文字を指定してください。

年(4桁)	&Y	月	&M	時	&h
年(2桁)	&y	日	&D	分	&m

例)「LOG_&Y&M&D.txt」を指定し、実行日が 2008 年 3 月 14 日の場合

「LOG_20080314.txt」になります。

「記録するデータ(日付・時間)」

データを読み取った日付や時間が、読み取ったデータの先頭に出力されます。

「制御コードを文字に変換して出力する」

制御コードは、<>で囲んで文字コード一覧の表示欄の文字列で出力されます。

「改行を付加する」

1 件のデータの最後に改行コードを付加します。

8) 開始 ボタン

現在の設定を保存し、ポートをオープンして、データの受信を待ちます。

スキャナやカードリーダー等からデータを読み込むことができます。

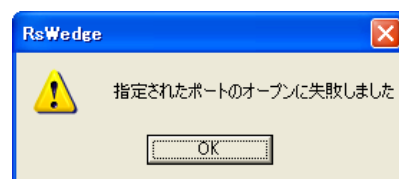
- ・「指定されたポートのオープンに失敗しました」というエラーメッセージが表示される場合

(1)ポート番号に間違いがないか、ご確認ください。

(2)他のプログラムで同じポートを使用中でないかご確認ください。

- ・正常にオープンできたが、データが読み込めない場合

通信速度やフロー制御など、通信設定をご確認ください。



- ・RsWedge のメイン画面がアクティブな状態の場合

読み取ったデータは「入力データ表示」欄に表示されます。設定のテストやデータの確認を行う場合などは、この状態で読込を行ってください。

- ・他のアプリケーション(ウィンドウ)にデータを送りたい場合

対象になるアプリケーションの画面をアクティブにし、キー入力待ち状態でデータの読込を行ってください。

- ・読み取ったデータの記録だけを行う場合

ログ設定機能で、「記録する」を選択し、「キー送信しない」をチェックしてください。

他のアプリケーションがアクティブな場合も、データを送りません。

9) 中止 ボタン

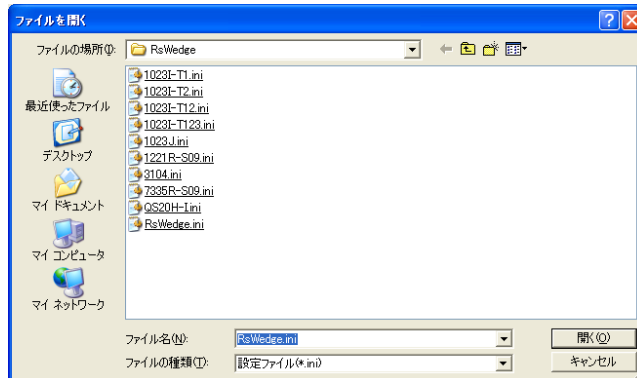
クリックすると、通信を終了します。

10) [起動時、自動実行] チェック

チェックすると、次回 RsWedge を起動した際に、自動的に通信を開始し、アイコン化します。

11) **設定読込／書込** ボタン

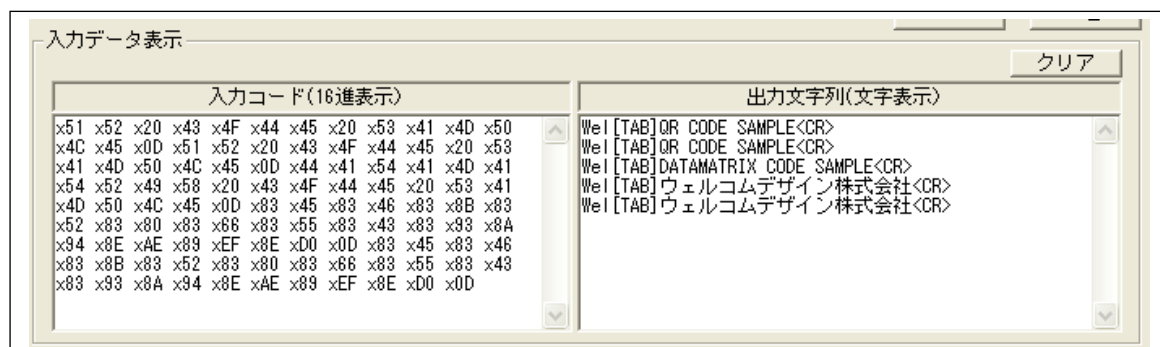
ファイルを指定して、設定の読込／書込を行います。



ファイル選択画面が表示されますので、ファイル名を指定(入力)してください。複数の機種を使用する場合、機種別に設定ファイルを作成すると便利です。

12) 入力データ表示

RsWedge がアクティブな状態で受信した場合、受信したデータの入力コードと出力文字が表示されます。



入力コード(16進表示) : 受信したデータを16進数で表示します。

出力文字列(文字表示) : 受信したデータを編集し、文字列として表示します。

- ・ 制御コードは、< >で囲んで表示
- ・ 仮想キーコードは、[]で囲んで表示

クリア ボタンをクリックすると、表示されているデータがクリアされます。

5. コード一覧

1) 文字コード一覧

コード	表示	意味
x01	SOH	ヘッダ開始 (Start Of Heading)
x02	STX	テキスト開始 (Start of TeXt)
x03	ETX	テキスト終了 (End of TeXt)
x04	EOT	転送終了 (End Of Transmission)
x05	ENQ	問合せ (ENQuiry)
x06	ACK	肯定応答 (ACKnowledge)
x07	BEL	ベル (BEL)
x08	BS	後退 (Back Space)
x09	HT	水平タブ (Horizontal Tabulation)
x0A	LF	改行 (Line Feed)
x0B	VT	垂直タブ (Vertical Tabulation)
x0C	FF	改ページ (Form Feed)
x0D	CR	復帰 (Carriage Return)
x0E	SO	シフトアウト (Shift Out)
x0F	SI	シフトイン (Shift In)
x10	DLE	伝送制御拡張 (Data Link Escape)
x11	DC1	装置制御 1 (Device Control 1)
x12	DC2	装置制御 2 (Device Control 2)
x13	DC3	装置制御 3 (Device Control 3)
x14	DC4	装置制御 4 (Device Control 4)
x15	NAK	否定応答 (Negative AcKnowledge)
x16	SYN	同期信号 (SYNchronous idle)
x17	ETB	転送ブロック終了 (End of Transmission Block)
x18	CAN	取消 (CANcel)
x19	EM	媒体終端 (End of Medium)
x1A	SUB	置換 (SUBstitute)
x1B	ESC	拡張 (ESCAPE)
x1C	FS	ファイル分離 (File Separator)
x1D	GS	グループ分離 (Group Separator)
x1E	RS	レコード分離 (Record Separator)
x1F	US	ユニット分離 (Unit Separator)
x20	SPC	空白 (Space)
x30 ~ x39	0 ~ 9	数字
x41 ~ x5A	A ~ Z	英字 (大文字)
x61 ~ x7A	a ~ z	英字 (小文字)
xB1 ~ xDF	ア ~ ン, *, °	半角カナ
その他		記号など

2) 仮想キーコード一覧

コード	表示	意味
v01	LBTN	マウス左ボタン
v02	RBTN	マウス右ボタン
v03	CAN	[Cancel]
v04	MBTN	マウス中央ボタン
v08	BACK	[Back Space]
v09	TAB	[Tab]
v0C	CLR	[Clear]
v0D	ENT	[Enter]
v10	SFT	[Shift]
v11	CTRL	[Ctrl]
v12	ALT	[Alt]
v13	PAUS	[Pause]
v14	CAPS	[Caps Lock]
v15	KANA	IME カナモード
v19	KANJ	IME 漢字モード
v1B	ESC	[Esc]
v1C	CNV	IME 変換
v1D	NCNV	IME 無変換
v20	SPC	[スペースキー]
v21	PUP	[Page Up]
v22	PDWN	[Page Down]
v23	END	[End]
v24	HOME	[Home]
v25	LEFT	[←]
v26	UP	[↑]
v27	RIT	[→]
v28	DOWN	[↓]
v29	SEL	[Select]
v2A	PRN	[Print]
v2B	EXE	[Execute]
v2C	PSCR	[Print Screen]
v2D	INS	[Insert]
v2E	DEL	[Delete]
v2F	HELP	[Help]
v30 ~v39	0 ~ 9	[0] ~ [9]
v41 ~v5A	A ~ Z	[A] ~ [Z]

コード	値	意味
v5B	LWIN	[左の Windows キー]
v5C	RWIN	[右の Windows キー]
v5D	APL	アプリケーションキー
v5F	SLEP	コンピュータスリープキー
v60 ~v69	T0 ~ T9	テンキーの [0] ~ [9]
v6A	T*	テンキーの [*]
v6B	T+	テンキーの [+]
v6C	TENT	テンキーの [Enter]
v6D	T-	テンキーの [-]
v6E	T.	テンキーの [.]
v6F	T/	テンキーの [/]
v70 ~v87	F1 ~ F24	[F1] ~ [F24]
v90	NUML	[Num Lock]
v91	SCRL	[Scroll Lock]
vA0	LSFT	左の [Shift]
vA1	RSFT	右の [Shift]
vA2	LCTL	左の [Ctrl]
vA3	RCTL	右の [Ctrl]
vA4	LALT	左の [Alt]
vA5	RALT	右の [Alt]

